

## Chapter 8 Grammar Review

The following is an excerpt from the Japanese tale 『Tongue-Cut Sparrow/ <sup>したき</sup>舌切りすずめ』  
Rewire it in the perspective of 「すずめ」.

むかし、むかし、あるところにおじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは毎日おばあさんが作ったおべんとうをもって、山でしごと(work)をします。ある日、おなかがすいた一羽<sup>わ</sup>のすずめ(a sparrow)が山へ飛<sup>と</sup>んで来<sup>1</sup>ました。そして、おじいさんがしごとをしている間、おべんとうはすべてすずめに食べられてしまいました。でも、おじいさんは怒<sup>おこ</sup>りませんでした。それは、おじいさんがすずめを「かわいい」と思<sup>おも</sup>ったからです。そして、おじいさんはすずめを家につれて帰<sup>かえ</sup>りました<sup>2</sup>。

それから、おじいさんはすずめを「チュン」とよんで、とてもかわいがり<sup>あ</sup>りました<sup>3</sup>。すずめをかご(cage)に入れて、だいじにかい<sup>か</sup>いました<sup>4</sup>。でも、おばあさんはすずめをきら<sup>きら</sup>いました<sup>5</sup>。そのため、おじいさんがいない時、おばあさんはすずめをいじ<sup>い</sup>めました。

ある日のことです。おじいさんはいつものように山へ出かけました。そして、おばあさんは洗<sup>せんたく</sup>濯をするため、川へ行きました。おばあさんは出かける前、すずめに「ねこが洗<sup>せんたく</sup>濯のり<sup>6</sup>を食<sup>く</sup>べないように見てなさい」と言<sup>い</sup>いました。しかし、おひるになると、すずめはおなかがすいて、洗<sup>せんたく</sup>濯のりをぜんぶ食<sup>く</sup>べてしまいました。家に帰<sup>かえ</sup>って来たおばあさんはとても怒<sup>おこ</sup>って、すずめをし<sup>し</sup>かりました。そして、すずめをつか<sup>と</sup>まえると<sup>7</sup>、「この舌<sup>した</sup>が悪<sup>わる</sup>いことをしたのか」と言<sup>い</sup>って、はさ<sup>は</sup>みですずめの舌<sup>した</sup>を切<sup>き</sup>ってしまいました。そして、おばあさんはすずめをおい<sup>い</sup>だしました<sup>8</sup>。…

1 とぶ (飛ぶ) = to fly

2 つれてかえる(連れて帰る)=to bring back

3 かわいがる(可愛がる)=to love

4 かう(飼う) = to raise

5 きらう(嫌う)=to hate

6 せんたくのり = laundry starch (\*laundry starch is made from rice, corn or wheat)

7 つかまえる (捕まえる) = to catch

8 おいだす (追い出す) = to drive out